別記(一)

争議ニュース

九月八日 号外

大江印刷争議團

東印とは手を切ったぞ――!

交友會独自の活潑なる活動を起さう――!

今まで俺達と会社の中間にはさまって、何かゴテゴテ裏立たことをやってゐた東印、と俺達は――團結を固めて――手を切った。彼等は表面は「應援だ」とか「大々的にやる」とかいって、さて実際には何をやったか!! 警備を解いてもう止めろ、何を言ってゐるんだ。俺達は見ろ――こんなにつよく結束してゐるんだ。俺達はこうして益々強くなる一方だ。――然し会社はどうだ、――もう奴等は弱根をふるって来くかってゐる。勝利は目の前にあるんだ。俺達全部はあくまでやると誓ひ合ったんだ。しかもその言葉の通り実行して居るんだ。東印は先づ二十九日から昨日までの間に「ゲレ団」だとか何とか言って、のってこんでゆかりいた。六日の晩には、スピッチ断まで九人を呼びつけて、来て、何を言ったか!! ――「もう駄目だから(何を?)無條件で(くそッ!)会社へ行け、ぎせい者がいくら出ても仕方がない――!!」

何だ――コンナ馬鹿な話があるか――奴等の口からこんなことをきいて会社は俺達の争議を見て(不当な)活動してくれる人達をいくらかでも首にして、あとはすてるのだ。誰をいぢめ、あくまで苦しめるつもりだ。

俺達は元々無責任なダラメに耳をかすわけにはいかないんだ。俺達は、俺達自身の力で、あくまでやるんだ――!

見ろ――この團結を――! 力を――! 意氣を――! 勝利は目前だ――!

大江印刷交友會萬歳――!

大江印刷争議團萬歳――!

別記(二)

争議ニュース

更生第一號

大江印刷争議團

ストライキ大會開かる

◆陣立は益々強まった

本七日午前十時俺達はストライキ大會を開いた、俺達のストライキは俺達がやらなければならない、「東印」の連中は俺達を應援すると言って何をしたか?

すべて、でたらめで行當りばったりで、やれ警備をとけの、裏切者はいくらでも裏切らせろのと、とんちんかんのことばかり言って俺達をかきまはした。俺達はいつまでも、こんなやつらに、まかせとく譯には行かない。

俺達は自分の手で全部のことをやらう――と全員は一致して大會を開いたのだ。少しばかりの人間の勝手な取りかたが、いかに間違ったもので俺達に害毒を流すばかりだと言ふことを俺達は今はっきり知ったのだ。

そこで先第一にやることは陣營を強めることだ。俺達が一丸となって固く團結し、警備や訪問を活潑にやって敵の切崩をけとばしてやったらう交渉なんか自分の方から申込んでくる。そのとき、こちらから強く出て行けばすぐ勝つことが出来るのだ。大會はこういふところから、もたれたんだ。今大体の経過を報告しやう。

初めに司會者清水君の元氣のいい開會の辞があった。皆はもう、八ち切れるばかりの熱心だ。警備隊の活躍ぶりと、東印ってやつらのやり方の報告があった。有志の感想に移った、誰も彼も自分の手でやる事に大賛成で團結の意志と力をはっきりと見せた。拍手はきまること少しに、わき起る、中でも大杉君の「みんなが委員になってやらう」との一言は俺達の一致團結を強く示したものとして大書すべきだ。

●通信●

一同に慰安のため歌月に於て、演藝、映画、音楽等其の他のゴラク的の催しを設ける由。